

1. be 動詞 (1年 Unit 1 & 2)

単語をなぞって書き、意味を覚えましょう。

名詞	I	アイ	私は
	we	ウイ	私達は
	you	ユ-	あなたは
	he	ヒ-	彼は
	she	シー	彼女は
	this	ズ` イス	これは
	that	サ` ット	あれは
	it	イット	それは
	sign	サイン	看板
	restaurant	レストラン	レストラン
	basketball	バスケットボール	バスケット
	player	プレイヤー	選手
	friend	フレンド	友達
	class	クラス	組/クラス
classroom	クラスルーム	教室	
Canada	キャナダ	カナダ	
Toronto	トランノウ	トロント	
動詞	am	アム	です/います
	are	アー	です/います
	is	イズ	です/います
形容詞	a	ア	1つの
	my	マイ	私の
	your	ユア	あなたの
	our	アウア	私達の
	good	グ` ット	良い
	big	ビ` ッグ	大きい
	new	ニュー	新しい
favorite	フェイバリット	大好きな	
その他	very	ヴェ` エリ	とても
	yes	イエス	はい
	No	ノウ	いいえ
	hi	ハイ	やあ
	hello	ハロウ	こんにちは
	too	トゥー	こちらこそ
	in ~	イン	~の中に
	from	フラム	出身
熟語	Nice to meet you.	ナイス トゥー ミート ユー	はじめまして
	Me, too.	ミー トゥー	私も
	Thank you.	サンキュー	ありがとう
	You're welcome.	ユア ウェルカム	どういたしまして

英語のルールをしっかり理解し、適切な英文を作りましょう。

be 動詞とは、am、is、are のことです。	例) She <u>is</u> Becky. 彼女はベッキー <u>です</u> 。
be 動詞は「です」や「います」という意味です。	例) He <u>is</u> from Canada. 彼はカナダ出身 <u>です</u> 。
Iにはam、単数にはis、複数やyouにはareがつきます。	例) You <u>are</u> in Canada. あなたはカナダに <u>います</u> 。
① 私はケンです。	→ (I) (am) Ken.
② 私達は東京出身です。	→ (We) (are) from Tokyo.
③ 彼女はあなたの教室にいます。	→ (She) (is) in your classroom.
④ あなたは私の友達です。	→ (You) (are) my friend.
⑤ これは私達の教室です。	→ (This) (is) our classroom.
be 動詞の後に not をつけると否定文になります。	例) She <u>is not</u> Becky. 彼女はベッキー <u>ではありません</u> 。
is not は isn't と短縮できます。	例) He <u>isn't</u> from Canada. 彼はカナダ出身 <u>ではありません</u> 。
are not は aren't と短縮できます。	例) You <u>aren't</u> in Canada. あなたはカナダに <u>いません</u> 。
① 私はケンではありません。	→ (I) (am) (not) Ken.
② 私達は東京出身ではありません。	→ (We) (aren't) from Tokyo.
③ 彼女はあなたの教室にいません。	→ (She) (isn't) in your classroom.
④ あなたは私の友達ではありません。	→ (You) (aren't) my friend.
⑤ これは私達の教室ではありません。	→ (This) (isn't) our classroom.
be 動詞を文頭に置くと疑問文になります。	例) <u>Is</u> she Becky? 彼女はベッキー <u>ですか</u> ?
文頭の最初の文字を大文字にするのを忘れずに。	例) <u>Is</u> he from Canada? 彼はカナダ出身 <u>ですか</u> ?
最後にクエスチョンマークをつけるのを忘れずに。	例) <u>Are</u> you in Canada? あなたはカナダに <u>いますか</u> ?
① あなたはケンですか?	→ (Are) (you) Ken?
② 彼は東京出身ですか?	→ (Is) (he) from Tokyo?
③ 彼女はあなたの教室にいますか?	→ (Is) (she) in your classroom.
④ あなたは私の友達ですか?	→ (Are) (you) my friend?
⑤ これは私達の教室ですか?	→ (Is) (this) our classroom?
「はい」→ Yes, 主語+be 動詞。	例) Is she Becky? → <u>Yes, she is.</u> / <u>No, she isn't.</u>
「いいえ」→ No, 主語+be 動詞+not.	例) Is he from Canada? → <u>Yes, he is.</u> / <u>No, he isn't.</u>
「あなたは~ですか?」の返事は「私」になるので注意。	例) Are you in Canada? → <u>Yes, I am.</u> / <u>No, I am not.</u>
① Is she Emi?	→ Yes, (she) (is).
② Is he your friend?	→ No, (he) (isn't).
③ Is she in Canada?	→ Yes, (she) (is).
④ Are you from Canada?	→ No, (I) (am) (not).
⑤ Are you in our classroom?	→ Yes, (I) (am).
男性の名前が主語の疑問文は、he に直して答えます。	例) Is <u>Ken</u> from Canada? → Yes, <u>he</u> is. / No, <u>he</u> isn't.
女性の名前が主語の疑問文は、she に直して答えます。	例) Is <u>Becky</u> in Tokyo? → Yes, <u>she</u> is. / No, <u>she</u> isn't.
this や that が主語の疑問文は、it に直して答えます。	例) Is <u>this</u> my classroom? → Yes, <u>it</u> is. / No, <u>it</u> isn't.
① Is Ken your friend?	→ Yes, (he) (is).
② Is Emi from Canada?	→ No, (she) (isn't).
③ Is Hideki in Tokyo?	→ Yes, (he) (is).
④ Is this our classroom?	→ No, (it) (isn't).
⑤ Is that your classroom?	→ Yes, (it) (is).

2. 一般動詞 (1年 Unit 3)

単語をなぞって書き、意味を覚えましょう。			
名詞	week	ウィーク	週
	Sunday	サンデー	日曜日
	Monday	マンデー	月曜日
	Tuesday	テューズデー	火曜日
	Wednesday	ウェズデー	水曜日
	Thursday	サースデー	木曜日
	Friday	フライデー	金曜日
	Saturday	サタデー	土曜日
	everyone	エヴリワン	皆さん
	school	スクール	学校
	teacher	ティーチャー	先生
	English	イングリッシュ	英語
	Japanese	ジャパニーズ	日本語
	music	ミュージック	音楽
	color	カラー	色
	book	ブック	本
pen	ペン	ペン	
desk	デスク	机	
動詞	like ~	ライク	~が好き
	play ~	プレイ	~をする
	come	カム	来る
	walk	ウォーク	歩く
	have ~	ハヴ	~を持っている
	want ~	ワント	~が欲しい
	speak ~	スピーク	~を話す
	drive	ドライブ	運転する
形容詞	blue	ブルー	青い
	red	レッド	赤い
	white	ホワイト	白い
	green	グリーン	緑の
	orange	オレンジ	オレンジの
	black	ブラック	黒い
	yellow	イエロー	黄色い
その他	now	ナウ	今
	on ~	オン	~(曜日)に
	and ~	アンド	~と
	but	バット	しかし
熟語	every day	エヴリデイ	毎日
	by bike	バイバイク	自転車で
	Excuse me.	イクスキューズ ミー	すみません

英語のルールをしっかり理解し、適切な英文を作りましょう。	
英語は 誰が どうする 何を という順番になります。 どのように/どこで/いつ などは文の最後に置かれます。 曜日は必ず大文字で始まり、前に on がつきます。	例) You speak English. あなたは 話します 英語を 例) You speak English in Canada (カナダで). 例) You speak English on Monday (月曜日に).
① 私はあなたの本が欲しいです。	→ (I) (want) your book.
② 私は1つの赤いペンを持っています。	→ (I) (have) a red pen.
③ 私達は音楽が好きです。	→ (We) (like) music.
④ あなたはカナダで英語を話します。	→ (You) (speak) English in Canada.
⑤ あなたは火曜日にバスケットをします。	→ (You) (play) basketball on Tuesday.
どうする という意味になる語を一般動詞といいます。 一般動詞の前に do not をつけると否定文になります。 do not は don't と短縮できます。	例) You don't speak English. あなたは英語を 話しません . 例) I don't like my pen. 私は私のペンが 好きではないです . 例) We don't play basketball. 私達はバスケットを しません .
① 私はあなたの本が欲しくありません。	→ I (don't) (want) your book.
② 私は1つの赤いペンを持っていません。	→ I (don't) (have) a red pen.
③ 私達は音楽が好きではありません。	→ We (don't) (like) music.
④ あなたはカナダで英語を話しません。	→ You (don't) (speak) English in Canada.
⑤ あなたは火曜日にバスケットをしません。	→ You (don't) (play) basketball on Tuesday.
文頭に Do を置くと疑問文になります。 「はい」 → Yes, 主語 + do. 「いいえ」 → No, 主語 + don't.	例) Do you speak English? あなたは英語を 話しますか ? 例) Do you like my pen? → Yes, I do. / No, I don't. 例) Do you play basketball? → Yes, I do. / No, I don't.
① あなたは音楽が好きですか?	→ (Do) you (like) music?
② (①の疑問文に対して) はい、好きです。	→ Yes, (I) (do).
③ あなたはカナダで英語を話しますか?	→ (Do) you (speak) English in Canada?
④ (③の疑問文に対して) いいえ、話しません。	→ No, (I) (don't).
⑤ あなたは火曜日にバスケットをしますか?	→ (Do) you (play) basketball on Tuesday?
一般動詞に ing をつけると「~すること」という意味です。 e で終わる一般動詞は、e を省いてから ing をつけます。 drive 「運転する」 → driv ing 「運転する こと 」	例) You like walking . あなたは 歩くこと が好きです。 例) We like driving . 私達は 運転すること が好きです。 例) I like coming to school. 私は学校に 来ること が好きです。
① 私は運転することが好きです。	→ (I) like (driving).
② 私達はバスケットをすることが好きです。	→ (We) like (playing) basketball.
③ あなたは歩くことが好きです。	→ (You) like (walking).
④ 私は英語を話すことが好きです。	→ (I) like (speaking) English.
⑤ 私達は学校に来ることが好きです。	→ (We) like (coming) to school.
世の中に複数あるうちの1つを表す名詞に a がつきます。 a は「1つの」という意味で、基本的に日本語に訳しません。 a i u e o で始まる語は a の代わりに an がつきます。	例) I have a book . 私は (1冊の)本 を持っています。 例) I want a red book . 私は 赤い本 がほしいです。 例) I like an orange book . 私は オレンジの本 が好きです。
① 私は(1つの)机を持っています。	→ I have (a) (desk).
② 私は(1つの)黒い机を持っています。	→ I have (a) (black) (desk).
③ 私は(1つの)オレンジの机を持っています。	→ I have (an) (orange) (desk).
④ 私は(1つの)青いペンを持っています。	→ I have (a) (blue) (pen).
⑤ 私は(1つの)オレンジのペンを持っています。	→ I have (an) (orange) (pen).

3. 疑問詞① (1年 Unit 4)

単語をなぞって書き、意味を覚えましょう。			
名詞	question	クエスチョン	質問
	quiz	クイズ	クイズ
	time	タイム	時間
	animal	アニマル	動物
	cat	キャット	ねこ
	dog	ドッグ	犬
	bird	バード	鳥
	subject	サブジェクト	科目
	math	マス	数学
	breakfast	ブレイクファスト	朝食
	lunch	ランチ	昼食
	food	フード	食べ物
	rice	ライス	ご飯
	soup	スープ	汁
	toast	トースト	トースト
	jam	ジャム	ジャム
	egg	エッグ	たまご
	fish	フィッシュ	魚
	milk	ミルク	牛乳
	weather	ウェザー	天候
name	ネーム	名前	
動詞	know ~	ノウ	~を知っている
	study	スタディ	勉強する
	write ~	ライト	~を書く
	love ~	ラブ	~が大好き
形容詞	cloudy	クラウディ	くもりの
	interesting	インタレストィング	おもしろい
	easy	イージー	簡単な
その他	really	リーリ	本当に
	hard	ハード	熱心に
	usually	ユージュアリー	ふだん
	sometimes	サマタイムズ	時々
	after ~	アフター	~の後に
	for ~	フォー	~に
熟語	for breakfast	フォー ブレイクファスト	朝食に
	How about ~?	ハウ アバウト	~はどう?
	what's	ワッツ	何ですか
	That's right.	サッツ ライト	その通り
	I see.	アイ スイー	なるほど
	very much	ヴェリー マッチ	とても

英語のルールをしっかりと理解し、適切な英文を作りましょう。	
What is ~? は「~は何ですか?」という意味です。 How is ~? は「~はどうですか?」という意味です。 What is は What's、How is は How's と短縮できます。	例) <u>What is</u> your name? あなたの名前は <u>何</u> ですか? 例) <u>How is</u> the weather? 天候は <u>どう</u> ですか? 例) <u>What's</u> this? これは <u>何</u> ですか?
① あれは何ですか?	→ (What's) (that)?
② その名前は何かですか?	→ (What's) the name?
③ その動物は何ですか?	→ (What's) the animal?
④ 彼はどうですか?	→ (How's) (he)?
⑤ カナダはどうですか?	→ (How's) (Canada)?
What do ~? は「何を~しますか?」という意味です。 How do ~? は「どのように~しますか?」という意味です。 have は「食べる」という意味もあります。	例) <u>What do</u> you study? <u>何を</u> あなたは勉強しますか? 例) <u>How do</u> you study? <u>どのように</u> あなたは勉強しますか? 例) What do you <u>have</u> for breakfast? 何を朝食に <u>食べ</u> ますか?
① 何をあなたは話しますか?	→ (What) do you (speak)?
② 何をあなたは知っていますか?	→ (What) do you (know)?
③ 何をあなたは昼食に食べますか?	→ (What) do you (have[eat]) for lunch?
④ どのようにあなたは書きますか?	→ (How) do you (write)?
⑤ どのようにあなたは運転しますか?	→ (How) do you (drive)?
「下線部を尋ねる疑問文に直しなさい」という問題の場合、 be 動詞の文は What is ~? に直します。 下の問題↓は、下線部を尋ねる疑問文に直しましょう。	例) That is <u>a dog</u> . あれは <u>1匹の犬</u> です。 下線部「1匹の犬」を尋ねる疑問文に直すと、 <u>What is</u> that? あれは <u>何</u> ですか?
① This is <u>a cat</u> .	→ (What) (is) (this)?
② That is <u>a bird</u> .	→ (What) (is) (that)?
③ This is <u>an animal</u> .	→ (What) (is) (this)?
④ That is <u>an egg</u> .	→ (What) (is) (that)?
⑤ The name is <u>Pochi</u> .	→ (What) (is) (the) (name)?
「下線部を尋ねる疑問文に直しなさい」という問題の場合、 一般動詞の文は What do ~? に直します。 下の問題↓は、下線部を尋ねる疑問文に直しましょう。	例) You study <u>English</u> . あなたは <u>英語</u> を勉強します。 下線部「英語」を尋ねる疑問文に直すと、 <u>What do</u> you study? <u>何を</u> あなたは勉強しますか?
① You speak <u>English</u> .	→ (What) do you (speak)?
② You play <u>basketball</u> .	→ (What) do you (play)?
③ You want <u>a cat</u> .	→ (What) do you (want)?
④ You like <u>a dog</u> .	→ (What) do you (like)?
⑤ You study <u>math</u> .	→ (What) do you (study)?
usually や sometimes のように頻度を表す言葉は、 be 動詞の文の場合、be 動詞の後につきます。 一般動詞の文の場合、一般動詞の前につきます。	<u>usually</u> 「ふだん」、 <u>sometimes</u> 「時々」 例) The quiz <u>is sometimes</u> easy. そのクイズは <u>時々簡単</u> です。 例) I <u>usually speak</u> English. 私は <u>ふだん英語を話</u> します。
① 彼は時々カナダにいます。	→ He (is) (sometimes) in Canada.
② 彼女はふだんおもしろいです。	→ She (is) (usually) interesting.
③ 私は時々バスケットをします。	→ I (sometimes) (play) basketball.
④ 私達はふだん数学を勉強します。	→ We (usually) (study) math.
⑤ あなたは時々英語を書きます。	→ You (sometimes) (write) English.

4. 名詞/命令文(1年 Unit 5)

単語をなぞって書き、意味を覚えましょう。			
名詞	world	ワールド	世界
	country	カントリー	国
	one	ワン	やつ
	CD	シー ディー	CD
	net	ネット	ネット
	juice	ジュース	ジュース
	change	チェンジ	おつり
	cup	カップ	コップ
	car	カー	車
	box	ボックス	箱
bus	バス	バス	
動詞	use ~	ユーズ	~を使う
	try ~	トライ	~を試す
形容詞	one	ワン	1の
	two	トゥー	2の
	three	スリー	3の
	four	フォー	4の
	five	ファイヴ	5の
	six	シックス	6の
	seven	セブン	7の
	eight	エイト	8の
	nine	ナイン	9の
	ten	テン	10の
	difficult	ディフィカト	難しい
any	エニ	㊦全然	
any	エニ	㊧いくつかの	
その他	so	ソウ	だから
	only	オンリー	だけ
	again	アゲイン	また
	please	プリーズ	お願いします
	Let's ~	レッツ	~しよう
	well	ウェル	ええと
	wow	ワウ	わあ
熟語	Here's ~	ヒアズ	~はここです
	How many ~	ハウ メニ	何個の~
	a lot of ~	ア ラット オフ	たくさん~
	cup of ~	カプ オフ	〇杯の~
	Here you are.	ヒア ユーアー	はい、どうぞ
	I'm sorry.	アイム サリ	ごめんなさい
	That's all right.	ザット オール ライト	大丈夫です

英語のルールをしっかり理解し、適切な英文を作りましょう。	
複数のものにはsがつきます。 s や x で終わる語は es がつきます。 some は「いくつかの」という意味です。	例) I have <u>two books</u> . 私は <u>2冊の本</u> を持っています。 例) I use <u>three boxes</u> . 私は <u>3個の箱</u> を使います。 例) I want <u>some buses</u> . 私は <u>数台のバス</u> が欲しいです。
① 私達は4枚のCDを持っています。	→ We (have) (four) (CDs).
② 私達は5台の車が欲しいです。	→ We (want) (five) (cars).
③ 私達は6個の箱を使います。	→ We (use) (six) (boxes).
④ 私達は数台のバスを運転します。	→ We (drive) (some) (buses).
⑤ 私達は数人の選手を知っています。	→ We (know) (some) (players).
How many ~ は「何個の~」という意味です。 How many の後の名詞にはsがつきます。 How many の後には疑問文が続きます。	例) <u>How many books</u> do you have? <u>何冊の本</u> を持っていますか? 例) <u>How many boxes</u> do you use? <u>何個の箱</u> を使いますか? 例) <u>How many buses</u> do you want? <u>何台のバス</u> が欲しいですか?
① 何枚のCDをあなたは持っていますか?	→ (How) (many) (CDs) do you have?
② 何台の車があなたは欲しいですか?	→ (How) (many) (cars) do you want?
③ 何個の箱をあなたは使いますか?	→ (How) (many) (boxes) do you use?
④ 何台のバスをあなたは運転しますか?	→ (How) (many) (buses) do you drive?
⑤ 何人の選手をあなたは知っていますか?	→ (How) (many) (players) do you know?
some は否定文や疑問文では any に変わります。 否定文の中の any は「全然」という意味です。 疑問文の中の any は「いくつかの」という意味です。	例) I want <u>some</u> pens. 私は <u>数本のペン</u> が欲しいです。 例) I don't want <u>any</u> pens. 私は <u>全然ペン</u> が欲しくなくです。 例) Do you want <u>any</u> pens? <u>いくつかのペン</u> が欲しいですか?
① あなたはいくつかコップを使います。	→ You (use) (some) (cups).
② あなたは全然コップを使いません。	→ You (don't) (use) (any) (cups).
③ あなたはいくつかコップを使いますか?	→ Do you (use) (any) (cups)?
④ 私はいくつかCDを持っています。	→ I (have) (some) (CDs).
⑤ 私は全然CDを持っていません。	→ I (don't) (have) (any) (CDs).
a cup of ~ は「1杯の~」という意味です。 a と one はどちらも「1個の」という意味です。 複数の場合、cup に s がつきます。	例) I want <u>a cup of</u> milk. 私は <u>1杯の牛乳</u> が欲しい。 例) I want <u>one cup of</u> milk. 私は <u>1杯の牛乳</u> が欲しい。 例) I want <u>two cups of</u> milk. 私は <u>2杯の牛乳</u> が欲しい。
① 私は1杯のジュースが欲しいです。	→ I want (a) (cup) (of) juice.
② 私は2杯のジュースが欲しいです。	→ I want (two) (cups) (of) juice.
③ 私は3杯のジュースが欲しいです。	→ I want (three) (cups) (of) juice.
④ 私は4杯のジュースが欲しいです。	→ I want (four) (cups) (of) juice.
⑤ 私は数杯のジュースが欲しいです。	→ I want (some) (cups) (of) juice.
英語は <u>誰が</u> <u>どうする</u> <u>何を</u> という順番になります。 <u>誰が</u> がなく、 <u>どうする</u> で始まると命令文になります。 命令文の前に Let's をつけると「しましょう」という意味です。	例) <u>You</u> <u>speak</u> <u>English</u> . <u>あなたは</u> <u>話します</u> <u>英語を</u> 例) <u>Speak</u> <u>English</u> . <u>英語を</u> <u>話さない</u> . 例) <u>Let's speak</u> <u>English</u> . <u>英語を</u> <u>話しましょう</u> .
① 私はこのネットを使います。	→ (I) (use) this net.
② このネットを使いなさい。	→ (Use) this net.
③ このネットを使いましょう。	→ (Let's) (use) this net.
④ 英語を勉強しなさい。	→ (Study) English.
⑤ 英語を勉強しましょう。	→ (Let's) (study) English.

5. 3人称単数(1年 Unit 6)

単語をなぞって書き、意味を覚えましょう。			
名詞	grandmother	グランマザ	祖母
	journalist	ジャーナリスト	ジャーナリスト
	university	ユニヴァーシティ	大学
	language	ランゲイジ	言語
	culture	カルチャ	文化
	baseball	ベースボール	野球
	soccer	サッカー	サッカー
	tennis	テニス	テニス
	racket	ラケット	ラケット
	team	チーム	チーム
	game	ゲーム	試合
	rule	ルール	ルール
	popcorn	ポップコーン	ポップコーン
	birthday	バースデー	誕生日
	party	パーティー	パーティー
	night	ナイト	夜
	his	ヒズ	彼の
her	ハー	彼女の	
動詞	live	リヴ	住んでいる
	work	ワーク	働く
	teach ~	ティーチ	~を教える
	go	ゴウ	行く
	cheer	チア	応援する
	start	スタート	始まる
	does	ダズ	doの3人称単数
	has	ハズ	haveの3人称単数
形容詞	famous	フェイマス	有名な
	foreign	フォリン	外国の
	free	フリー	ひまな
	great	グレート	すばらしい
その他	goodbye	グッドバイ	さよなら
	near ~	ニア	~の近くに
	often	オフン	よく
	also	オールソ	も
	there	ゼア	そこで
then	ゼン	その時に	
熟語	~ years old	イヤーズ オールド	~才
	at home	アットホーム	家で
	some of ~	サム オフ	~のいくつか
	see you	スイーユー	またね

英語のルールをしっかりと理解し、適切な英文を作りましょう。	
英語は 誰が どうする 何を という順番になります。 一般動詞の前に don't をつけると否定文になります。 文頭に Do を置くと疑問文になります。	例) You <u>speak</u> English. あなたは 話します 英語を 例) You <u>don't speak</u> English. あなたは英語を 話しません 。 例) <u>Do</u> you <u>speak</u> English? あなたは英語を 話しますか?
① あなたは数学を勉強します	→ (You) (study) (math).
② あなたは数学を勉強しません	→ (You) (don't) (study) (math).
③ あなたは数学を勉強しますか?	→ (Do) (you) (study) (math)?
④ (③の疑問文に対して)はい、します。	→ (Yes), (I) (do).
⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、しません。	→ (No), (I) (don't).
自分を1人称、相手を2人称、その他を3人称といいます。 主語が3人称で単数の場合、一般動詞に s がつきます。 s o x ch sh で終わる語には es がつきます。	例) I <u>live</u> in Canada. 私はカナダに 住んでいます 。 例) He <u>lives</u> in Canada. 彼はカナダに 住んでいます 。 例) He <u>goes</u> to Tokyo. 彼は東京に 行きます 。
① 私達はカナダで働きます。	→ (We) (work) in Canada.
② 彼はカナダで働きます。	→ (He) (works) in Canada.
③ 私は英語を教えます。	→ (I) (teach) English.
④ 彼女は英語を教えます。	→ (She) (teaches) English.
⑤ ケンは英語を教えます。	→ (Ken) (teaches) English.
a i u e o を母音字、それ以外を子音字といいます。 子音字+y で終わる語は、y を i に変えて es をつけます。 have は特別に has という形になります。	例) He <u>plays</u> tennis. 彼はテニスを します 。 例) He <u>studies</u> math. 彼は数学を 勉強します 。 例) He <u>has</u> a car. 彼は車を 持っています 。
① 私は英語を勉強します。	→ (I) (study) English.
② 彼は英語を勉強します。	→ (He) (studies) English.
③ 彼は野球をします。	→ (He) (plays) baseball.
④ 彼女はこのラケットを試します。	→ (She) (tries) this racket.
⑤ 彼女は5枚CDを持っています。	→ (She) (has) five CDs.
3人称で単数の場合、 一般動詞の前に doesn't をつけると否定文になります。 doesn't がつくると、一般動詞に s はつきません。	例) You <u>don't speak</u> English. あなたは英語を 話しません 。 例) He <u>doesn't speak</u> English. 彼は英語を 話しません 。 例) He <u>doesn't have</u> a car. 彼は車を 持っていません 。
① 私は英語を勉強しません。	→ (I) (don't) (study) English.
② 彼は英語を勉強しません。	→ (He) (doesn't) (study) English.
③ 私は全然CDを持っていません。	→ (I) (don't) (have) any CDs.
④ 彼女は全然CDを持っていません。	→ (She) (doesn't) (have) any CDs.
⑤ ケンはカナダに住んでいません。	→ (Ken) (doesn't) (live) in Canada.
3人称で単数の場合、 文頭に Does を置くと疑問文になります。 返事は does や doesn't を使います。	例) <u>Do</u> you <u>speak</u> English? あなたは英語を 話しますか? 例) <u>Does</u> he <u>speak</u> English? 彼は英語を 話しますか? → Yes, he <u>does</u> ./ No, he <u>doesn't</u> .
① あなたは英語を勉強しますか?	→ (Do) (you) (study) English?
② 彼は英語を勉強しますか?	→ (Does) (he) (study) English?
③ ケンはカナダに住んでいますか?	→ (Does) (Ken) (live) in Canada?
④ (③の疑問文に対して)はい、住んでいます。	→ (Yes), (he) (does).
⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、住んでいません。	→ (No), (he) (doesn't).

6. 疑問詞② (1年 Unit 7)

単語をなぞって書き、意味を覚えましょう。			
名詞	family	ファミリ	家族
	children	チルドレン	子供達
	grandchild	グランチャイルド	孫
	brother	ブラザ	兄弟
	member	メンバ	一員
	minute	ミニット	分
	hospital	ハスピタル	病院
	cafeteria	カフェテリア	カフェテリア
	football	フットボール	フットボール
	bed	ベッド	ベッド
	weekend	ウィークエンド	週末
	picture	ピクチャ	写真
	festival	フェスティバル	祭り
	flute	フルート	フルート
	season	シーズン	季節
spring	スプリング	春	
動詞	talk	トーク	話す
	take ~	テイク	~を受ける
	read ~	リード	~を読む
	eat ~	イト	~を食べる
	spend ~	スPEND	~を過ごす
	enjoy ~	インジョイ	~を楽しむ
形容詞	junior	ジュニア	年下の
	ready	レディ	準備ができた
	each	イチ	それぞれの
その他	today	トゥデイ	今日
	between ~	ビトゥウィーン	~の間
	quickly	クワイックリ	素早く
	which	ウィッチ	どちら
	or	オー	それとも
熟語	high school	ハイスクール	高校
	How old ~?	ハウ オールド	何才
	How long ~?	ハウ ロング	どの位の長さ
	How are you?	ハウ アー ユー	お元気ですか?
	Let's see.	レッツ スイー	ええと
	Good job.	グッド ジョブ	よく出来ました
	in the morning	イン ズイ モーニング	午前の
	in the afternoon	イン ズイ アフタヌーン	午後の
	in the evening	イン ズイ イーヴニング	夕方の
	welcome to ~	ウェルカム トゥ	~へようこそ

英語のルールをしっかり理解し、適切な英文を作りましょう。	
What is ~? は「~は何ですか」という意味です。	例) <u>What is</u> your name? あなたの名前は <u>何</u> ですか?
Who is ~? は「~は誰ですか」という意味です。	例) <u>Who is</u> Nancy? ナンシーは <u>誰</u> ですか?
Which is ~? は「~はどちらですか」という意味です。	例) <u>Which is</u> my book? 私の本は <u>どちら</u> ですか?
① 彼の名前は何ですか?	→ (What) (is) his name?
② ケンは誰ですか?	→ (Who) (is) Ken?
③ あなたのフルートはどちらですか?	→ (Which) (is) your flute?
④ あの先生は誰ですか?	→ (Who) (is) that teacher?
⑤ 私のベッドはどちらですか?	→ (Which) (is) my bed?
What の後に名詞をつけることができます。	例) <u>What season</u> do you like? <u>何の季節</u> が好きですか?
Which の後に名詞をつけることができます。	例) <u>Which team</u> do you like? <u>どちらのチーム</u> が好きですか?
What の後に time をつけると「何時」という意味です。	例) <u>What time</u> do you study? <u>何時</u> にあなたは勉強しますか?
① どちらの写真があなたは好きですか?	→ (Which) (picture) do you like?
② 何時にあなたは働きますか?	→ (What) (time) do you work?
③ どちらの車をあなたは運転しますか?	→ (Which) (car) do you drive?
④ 何の科目を彼は勉強しますか?	→ (What) (subject) does he study?
⑤ 何時に彼女はその病院に行きますか?	→ (What) (time) does she go to the hospital?
What time is it? は「何時ですか」という意味です。	例) <u>What time is it</u> in Tokyo? 東京は <u>何時</u> ですか?
It's ~. で、時を表します。	例) <u>It's</u> five. 5時 <u>です</u> 。
時を表す文の it は日本語に訳しません。	例) <u>It's</u> two in the afternoon. 午後2時 <u>です</u> 。
① 今何時ですか?	→ (What) (time) (is) (it) now?
② 9時です。	→ (It's) (nine) .
③ 午前8時です。	→ (It's) (eight) in the (morning) .
④ 午後3時です。	→ (It's) (three) in the (afternoon) .
⑤ 夕方7時です。	→ (It's) (seven) in the (evening) .
How old は「何才」という意味です。	例) <u>How old</u> are you? あなたは <u>何才</u> ですか?
How long は「どの位の長さ」という意味です。	例) <u>How long</u> is the class? 授業は <u>どの位の長さ</u> ですか?
How many ~ は「何個の~」という意味です。	例) <u>How many books</u> do you want? <u>何冊の本</u> が欲しいですか?
① 彼は何才ですか?	→ (How) (old) is he?
② 英語の授業はどの位の長さですか?	→ (How) (long) is the English class?
③ 何枚の写真をあなたは持っていますか?	→ (How) (many) (pictures) do you have?
④ あなたの弟は何才ですか?	→ (How) (old) is your brother?
⑤ その祭りはどの位の長さですか?	→ (How) (long) is the festival?
疑問詞の後は be 動詞や一般動詞の疑問文が続きます。	例) What <u>is this</u> ? <u>これは何</u> ですか?
is, am, are の be 動詞と do, does の一般動詞を一緒に使うことはないので、混ざらないよう注意しましょう。	例) What <u>do you study</u> ? 何を <u>あなたは勉強</u> しますか? 例) What <u>does he study</u> ? 何を <u>彼は勉強</u> しますか?
① 彼のフルートはどちらですか?	→ (Which) (is) (his) (flute)?
② どちらをあなたは食べますか?	→ (Which) (do) (you) (eat)?
③ どちらを彼女は食べますか?	→ (Which) (does) (she) (eat)?
④ 彼の名前は何ですか?	→ (What) (is) (his) (name)?
⑤ 何を彼は食べますか?	→ (What) (does) (he) (eat)?

7. 代名詞 (1年 Unit 8)

単語をなぞって書き、意味を覚えましょう。			
名詞	these	ズ イーズ	これらは
	those	ゾ ーズ	あれらは
	man	マン	男性
	woman	ウマン	女性
	cap	キャップ	帽子
	head	ヘッド	頭
	hair	ヘア	髪
	star	スター	スター
	chair	チェア	イス
	camera	カメラ	カメラ
	pocket	ポケット	ポケット
	blanket	ブランケット	毛布
	return	リターン	返還
	present	プレゼント	プレゼント
	notebook	ノートブック	ノート
house	ハウス	家	
動詞	get up	ゲ ット アップ	起きる
	look	ルック	見る
	plus	プラス	足す
	minus	マ이너	引く
形容詞	late	レイト	遅刻の
	long	ロング	長い
	short	ショート	短い
	eleven	イレヴン	11の
	twelve	トゥエルブ	12の
	thirteen	サーティーン	13の
	fourteen	フォーティーン	14の
	fifteen	フィフティーン	15の
	sixteen	シクステーン	16の
	seventeen	セヴンティーン	17の
eighteen	エイティーン	18の	
nineteen	ナインティーン	19の	
その他	dear ~	ディア	親愛なる~へ
	love	ラヴ	愛を込めて
	under ~	アンダー	~の下に
熟語	come on	カム オン	急いで
	over there	オヴァ ーゼア	向こうに
	of course	アフ コース	もちろん
	Happy Birthday!	ハピ バ ースデー	誕生日おめでとう
	Thanks.	サンクス	ありがとう

英語のルールをしっかり理解し、適切な英文を作りましょう。	
「~は」の代名詞を覚えましょう。 I「私は」、we「私達は」、you「あなたは」、 he「彼は」、she「彼女は」、it「それは」、they「彼らは」	例) I know the man. <u>私</u> はその男性を知っています。 例) <u>He</u> knows the man. <u>彼は</u> その男性を知っています。 例) <u>They</u> know the man. <u>彼らは</u> その男性を知っています。
① 私達はカナダ出身です。	→ (I) (am) from Canada.
② 彼女はスターです。	→ (She) (is) a star.
③ それはイスです。	→ (It) (is) a chair.
④ 彼らは英語を話します。	→ (They) (speak) English.
⑤ あなたは赤い帽子を持っています。	→ (You) (have) a red cap.
「~の」の代名詞を覚えましょう。 my「私の」、our「私達の」、your「あなたの」、 his「彼の」、her「彼女の」、its「その」、their「彼らの」	例) These are <u>my</u> cameras. これらは <u>私の</u> カメラです。 例) These are <u>his</u> cameras. これらは <u>彼の</u> カメラです。 例) These are <u>their</u> cameras. これらは <u>彼らの</u> カメラです。
① 彼女は私達の先生です。	→ (She) (is) (our) teacher.
② 私は彼女の孫です。	→ (I) (am) (her) grandchild.
③ あなたは私の弟です。	→ (You) (are) (my) brother.
④ 彼らは彼の子供達です。	→ (They) (are) (his) children.
⑤ それはあなたのイスです。	→ (It) (is) (your) chair.
「~を」の代名詞を覚えましょう。 me「私を」、us「私達を」、you「あなたを」、 him「彼を」、her「彼女を」、it「それを」、them「彼らを」	例) My friend knows <u>you</u> . 私の友達は <u>あなた</u> を知っています。 例) My friend knows <u>them</u> . 私の友達は <u>彼ら</u> を知っています。 例) My friend knows <u>it</u> . 私の友達は <u>それを</u> 知っています。
① 私達の先生は彼らを知っています。	→ (Our) teacher knows (them).
② あなたの先生は私を知っています。	→ (Your) teacher knows (me).
③ 彼の先生は私達を知っています。	→ (His) teacher knows (us).
④ 彼女の先生はそれを知っています。	→ (Her) teacher knows (it).
⑤ 彼らの先生は彼女を知っています。	→ (Their) teacher knows (her).
「~のもの」の代名詞を覚えましょう。 mine「私のもの」、ours「私達のもの」、yours「あなたのもの」、 his「彼のもの」、hers「彼女のもの」、theirs「彼らのもの」	例) These cameras are <u>mine</u> . これらのカメラは <u>私のもの</u> です。 例) These cameras are <u>ours</u> . これらのカメラは <u>私達のもの</u> です。 例) These cameras are <u>his</u> . これらのカメラは <u>彼のもの</u> です。
① これらのカメラは私達のものです。	→ (These) cameras are (ours).
② これらのイスは彼女のものです。	→ (These) chairs are (hers).
③ これら毛布は彼のものです。	→ (These) blankets are (his).
④ あれらの帽子は私のものです。	→ (Those) caps are (mine).
⑤ あれらの本はあなたのものです。	→ (Those) books are (yours).
Where は「どこ」という意味です。 Whose は「誰のもの」という意味です。 Whose に名詞がつくと「誰の~」という意味です。	例) <u>Where</u> is my cap? 私の帽子は <u>どこ</u> ですか? 例) <u>Whose</u> is this cap? この帽子は <u>誰のもの</u> ですか? 例) <u>Whose cap</u> is this? これは <u>誰の帽子</u> ですか?
① 彼のカメラはどこですか?	→ (Where) (is) his camera?
② あなたはどこですか?	→ (Where) (are) you?
③ あのイスは誰のものですか?	→ (Whose) (is) (that) (chair)?
④ あれは誰のイスですか?	→ (Whose) (chair) (is) (that)?
⑤ これは誰の本ですか?	→ (Whose) (book) (is) (this)?

8. 進行形 (1年 Unit 9)

単語をなぞって書き、意味を覚えましょう。			
名詞	people	ピープル	人々
	grandma	グランマー	おばあちゃん
	boy	ボーイ	男の子
	way	ウェイ	方向
	kitchen	キッチン	キッチン
	noodle	ヌードル	めん
	cookie	クッキー	クッキー
	ice	アイス	氷
	apron	エプロン	エプロン
	uniform	ユニフォーム	制服
	shoes	シューズ	くつ
	watch	ワッチ	腕時計
	umbrella	アンブレラ	カサ
	area	エリア	場所
	city	シティ	街
	street	ストリート	通り
left	レフト	左	
dinner	ディナー	夕食	
noon	ヌーン	正午	
動詞	run	ラン	走る
	turn	ターン	曲がる
	leave ~	リーヴ	~を出発する
	listen to ~	リスン トゥ	~を聴く
	wait for ~	ウェイト フォー	~を待つ
	look for ~	ルック フォー	~を探す
	get on ~	ゲット オン	~に乗る
	get off ~	ゲット オフ	~から降りる
	hurry up	ハリ アップ	急ぐ
	go down ~	ゴウ ダウン	~を下って行く
get to ~	ゲット トゥ	~に着く	
形容	crowded	クラウディッド	混雑した
	popular	パピュラー	人気の
他	like ~	ライク	~のような
	before ~	ビフォア	~の前に
熟語	cable car	ケーブルカー	ケーブルカー
	traffic light	トラフィック ライト	信号
	be careful	ビー ケアフル	気をつける
	go to bed	ゴウトゥ ベッド	寝る
	Here we are.	ヒア ウィアー	さあ、着いた
Pardon me?	パードン ミー	何と仰いましたか	

英語のルールをしっかり理解し、適切な英文を作りましょう。	
be 動詞＋一般動詞の ing 形で「～している」という意味です。 e で終わる一般動詞は、e を省いて ing をつけます。 run や swim は、最後の文字を重ねて ing をつけます。	例) I <u>am studying</u> math. 私は数学を勉強しています。 例) He <u>is using</u> a camera. 彼はカメラを使っています。 例) We <u>are swimming</u> . 私達は泳いでいます。
① あなたは英語を話しています。	→ You (are) (speaking) English.
② 彼女は数学を勉強しています。	→ She (is) (studying) math.
③ 私はこのキッチンを使っています。	→ I (am) (using) this kitchen.
④ 私達は通りを走っています。	→ We (are) (running) in the street.
⑤ 彼はあなたを待っています。	→ He (is) (waiting) for you.
be 動詞の後に not をつけると否定文になります。 is not は isn't, are not は aren't と短縮できます。 am not は短縮できません。	例) I <u>am not studying</u> math. 私は数学を勉強していません。 例) He <u>isn't using</u> a camera. 彼はカメラを使っていません。 例) We <u>aren't swimming</u> . 私達は泳いでいません。
① あなたは英語を話していません。	→ You (aren't) (speaking) English.
② 彼女は数学を勉強していません。	→ She (isn't) (studying) math.
③ 私はこのキッチンを使っていません。	→ I (am) (not) (using) this kitchen.
④ 私達は通りを走っていません。	→ We (aren't) (running) in the street.
⑤ 彼はあなたを待っていません。	→ He (isn't) (waiting) for you.
be 動詞を文頭に置くと疑問文になります。 「はい」→ Yes, 主語＋be 動詞。 「いいえ」→ No, 主語＋be 動詞＋not.	例) <u>Is he using</u> a camera? 彼はカメラを使っていますか? 例) Is she playing tennis? → <u>Yes, she is.</u> 例) Are you swimming? → <u>No, I am not.</u>
① 彼女は数学を勉強していますか?	→ (Is) (she) (studying) math?
② (①の疑問文に対して) はい、しています。	→ (Yes), (she) (is).
③ あなたは英語を話していますか?	→ (Are) (you) (speaking) English?
④ (③の疑問文に対して) はい、話しています。	→ (Yes), (I) (am).
⑤ (③の疑問文に対して) いいえ、話していません。	→ (No), (I) (am) (not).
What＋進行形の疑問文で「何を～していますか?」という意味。 do は「する」という意味があります。 返事は進行形で答えます。	例) <u>What is he using</u> ? 彼は何を使っていますか? 例) <u>What are you doing</u> ? あなたは何をしていますか? 例) I <u>am swimming</u> . 私は泳いでいます。
① 彼女は何を勉強していますか?	→ (What) (is) (she) (studying)?
② あなたは何を食べていますか?	→ (What) (are) (you) (eating)?
③ 彼らは何を読んでいますか?	→ (What) (are) (they) (reading)?
④ 彼は何をしていますか?	→ (What) (is) (he) (doing)?
⑤ 彼は通りを走っています。	→ (He) (is) (running) in the street.
一般動詞で始めると命令文になります。 命令文の前に Don't をつけると否定文になります。 be 動詞で始まる命令文もあります。	例) <u>Speak</u> English. 英語を話しなさい。 例) <u>Don't speak</u> English. 英語を話してはいけません。 例) <u>Be</u> careful. 気をつけなさい。
① そのケーブルカーに乗りなさい。	→ (Get) (on) the cable car.
② そのケーブルカーに乗ってはいけません。	→ (Don't) (get) (on) the cable car.
③ 左に曲がりなさい。	→ (Turn) left.
④ 左に曲がってはいけません。	→ (Don't) (turn) left.
⑤ 気をつけなさい。	→ (Be) (careful).

9. 助動詞① (1年 Unit 10)

単語をなぞって書き、意味を覚えましょう。			
名詞	winter	ウィンタ	冬
	vacation	ヴァケーション	休み
	hill	ヒル	坂
	bridge	ブリッジ	橋
	tree	トゥリー	木
	lake	レイク	湖
	park	パーク	公園
	boat	ボート	ボート
	gym	ジム	体育館
	window	ウィンドウ	窓
	door	ドア	ドア
	mirror	ミラー	鏡
	homework	ホームワーク	宿題
	guitar	ギター	ギター
piano	ピアノ	ピアノ	
phone	フォン	電話	
number	ナンバー	番号	
動詞	open ~	オープン	~を開ける
	swim	スイム	泳ぐ
	kid	キッド	からかう
	ski	スキー	スキーをする
	camp	キャンプ	キャンプをする
	guess ~	ゲス	~を推測する
	ride ~	ライド	~に乗る
	get around	ゲットアラウンド	動き回る
	come from ~	カムフラム	~に由来する
	look at ~	ルックアット	~を見る
help with ~	ヘルプ ウィズ	~を手伝う	
形容詞	busy	ビズィ	忙しい
	hot	ハット	暑い
	tall	トール	背の高い
	steep	スティープ	急な
	beautiful	ビューティフル	美しい
	golden	ゴールドン	金色の
sure	シュア	もちろん	
その他	why	ワイ	なぜ
	when	ウェン	いつ
	easily	イーズイリ	簡単に
熟語	all year round	オールヤーラウンド	1年中
	right now	ライト ナウ	ちょうど今

英語のルールをしっかり理解し、適切な英文を作りましょう。	
can + 動詞の原形で「~することが出来る」という意味です。 can の後に not をつけると否定文になります。 can not は can't と短縮できます。	例) He <u>can swim</u> . 彼は泳ぐことができます。 例) He <u>can not swim</u> . 彼は泳ぐことが出来ません。 例) He <u>can't swim</u> . 彼は泳ぐことが出来ません。
① 私は英語を話すことができます。 ② 彼女はそのドアを開けることができます。 ③ 私達は1年中スキーをすることができます。 ④ 彼はすしを食べることが出来ません。 ⑤ 彼らは日本語を書くことが出来ません。	→ I (can) (speak) English. → She (can) (open) the door. → We (can) (ski) all year round. → He (can't) (eat) sushi. → They (can't) (write) Japanese.
Can を文頭に置くと疑問文になります。 「はい」→ Yes, 主語 + can. 「いいえ」→ No, 主語 + can't.	例) <u>Can</u> he <u>swim</u> ? 彼は泳ぐことができますか? 例) Can she play tennis? → <u>Yes, she can</u> . 例) Can you read Japanese? → <u>No, I can't</u> .
① 彼はすしを食べることができますか? ② (①の疑問文に対して) はい、出来ます。 ③ あなたは英語を話すことができますか? ④ (③の疑問文に対して) はい、出来ます。 ⑤ (③の疑問文に対して) いいえ、出来ません。	→ (Can) (he) (eat) sushi? → (Yes), (he) (can). → (Can) (you) (speak) English? → (Yes), (I) (can). → (No), (I) (can't).
Can I ~? は「~してもいいですか?」という意味です。 Can you ~? は「~してくれませんか?」という意味です。 Sure. / All right. / OK.などで答えます。	例) <u>Can I open</u> the window? 窓を開けてもいいですか? 例) <u>Can you open</u> the window? 窓を開けてくれませんか? 例) <u>Sure</u> . もちろん。
① ギターを演奏してもいいですか? ② ピアノを演奏してくれませんか? ③ カナダに行ってもいいですか? ④ 東京に行ってくれませんか? ⑤ いいですよ。	→ (Can) (I) (play) the guitar? → (Can) (you) (play) the piano? → (Can) (I) (go) to Canada? → (Can) (you) (go) to Tokyo? → (All) (right).
be 動詞の疑問文は、be 動詞を文頭に置きます。 一般動詞の疑問文は、Do や Does を文頭に置きます。 進行形の疑問文は、be 動詞を文頭に置きます。	例) <u>Is</u> he from Canada? 彼はカナダ出身ですか? 例) <u>Does</u> he <u>study</u> math? 彼は数学を勉強しますか? 例) <u>Is</u> he <u>studying</u> math? 彼は数学を勉強していますか?
① 彼らは東京出身ですか? ② あなたは英語を話しますか? ③ 彼女は英語を話しますか? ④ 彼女は英語を話していますか? ⑤ 彼女は英語を話すことができますか?	→ (Are) (they) from Tokyo? → (Do) (you) (speak) English? → (Does) (she) (speak) English? → (Is) (she) (speaking) English? → (Can) (she) (speak) English?
疑問詞は疑問文の前につきます。 What 「何」、Which 「どちら」、Who 「誰」、Whose 「誰の」、 Where 「どこ」、When 「いつ」、Why 「なぜ」、How 「どのように」	例) <u>What</u> does he study? <u>何</u> を彼は勉強しますか? 例) <u>When</u> can he study? <u>いつ</u> 彼は勉強することができますか? 例) <u>Where</u> is he studying? <u>どこ</u> で彼は勉強していますか?
① なぜあなたは読むことができますか? ② どこであなたは読みますか? ③ どちらを彼は読みますか? ④ 何を彼は読んでいますか? ⑤ いつ彼は読むことができますか?	→ (Why) (can) (you) read? → (Where) (do) (you) read? → (Which) (does) (she) read? → (What) (is) (she) reading? → (When) (can) (he) read?

10. 一般動詞過去形/感嘆文(1年 Unit 1 1)

単語をなぞって書き、意味を覚えましょう。			
名詞	view	ヴュー	景色
	bread	ブレッド	パン
	dream	ドリーム	夢
	shrine	シュライン	神社
	sunrise	サンライズ	日の出
	headache	ヘッドエイク	頭痛
	plane	プレーン	飛行機
	the Earth	ズィアース	地球
	thing	スィング	もの
hour	アワー	～時間	
動詞	call ~	コール	～に電話する
	stand	スタンド	立つ
	think	スィンク	思う
	rest	レスト	休憩する
	rain	レイン	雨が降る
	cook	クック	料理する
	stay	ステイ	滞在する
	go back	ゴウバック	帰る
	walk around ~	ウォークアラウンド	～を歩き回る
stay up	ステイアップ	起きている	
形容詞	smart	スマート	賢い
	small	スモール	小さい
	cold	コールド	寒い
	tired	タイド	疲れている
	quiet	クワイエット	静かな
	early	アーリー	早く
	different	ディファレント	異なる
その他	yesterday	イエスタデイ	昨日
	last	ラスト	この前の
	almost	オールモスト	ほとんど
	ago	アゴウ	～前に
	fast	ファスト	速く
	together	トゲザ	一緒に
	as ~	アズ	～として
熟語	just like ~	ジヤストライク	まさに～のように
	all around	オールラウンド	あたり一面に
	What's wrong?	ワッツロング	どこが悪いの?
	take care of ~	テイクケアアヴ	～を気にかける
	look like ~	ルックライク	～のように見える
	and so on	アンドソゥオン	など

英語のルールをしっかりと理解し、適切な英文を作りましょう。	
一般動詞に ed をつけると「～しました」という意味です。 e で終わる語は、d だけをつけます。 子音字+y で終わる語は、y を i に変えて ed をつけます。	例) He <u>called</u> his family. 彼は彼の家族に <u>電話</u> しました。 例) They <u>used</u> my camera. 彼らは私のカメラを <u>使</u> いました。 例) She <u>studied</u> math. 彼女は数学を <u>勉強</u> しました。
① 私は夕食を料理しました。	→ (I) (cooked) dinner.
② 彼女はカナダに滞在しました。	→ (She) (stayed) in Canada.
③ 彼は日本語を勉強しました。	→ (He) (studied) Japanese.
④ 彼らは東京に住んでいました。	→ (They) (lived) in Tokyo.
⑤ 私達は彼の飛行機を使いました。	→ (We) (used) his plane.
ed をつけず、特別な変化をする動詞を不規則動詞といいます。 go→went、come→came、get→got、take→took、 see→saw、do→did、have→had、give→gave など。	例) They <u>went</u> to Canada. 彼らはカナダに <u>行</u> きました。 例) He <u>came</u> to school. 彼は学校に <u>来</u> ました。 例) I <u>saw</u> the teacher. 私はその先生を <u>見</u> ました。
① 彼は7冊本を持っていました。	→ (He) (had) seven books.
② 私は東京に行きました。	→ (I) (went) to Tokyo.
③ 彼女は(1匹の)ネコを見ました。	→ (She) (saw) a cat.
④ 彼らは日本に来ました。	→ (They) (came) to Japan.
⑤ 私達は(1枚の)写真を手に入れました。	→ (We) (got) a picture.
didn't を一般動詞の原形の前につけると否定文になります。 Did を文頭に置くと疑問文になります。 「はい」→ Yes, 主語+did. / 「いいえ」→ No, 主語+didn't.	例) She <u>didn't use</u> a pen. 彼女はペンを使 <u>い</u> ませんでした。 例) <u>Did</u> she <u>use</u> a pen? 彼女はペンを使 <u>い</u> ましたか? 例) Did you study math? → <u>Yes, I did.</u> / <u>No, I didn't.</u>
① 私は英語を話しませんでした。	→ (I) (didn't) (speak) English.
② 彼らはカナダに滞在しませんでした。	→ (They) (didn't) (stay) in Canada.
③ 彼女は東京に住んでいましたか?	→ (Did) (she) (live) in Tokyo?
④ (③の疑問文に対して)はい、住んでいました。	→ (Yes), (she) (did).
⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、住んでいませんでした。	→ (No), (she) (didn't).
How+形容詞で「なんて～なんだ」という意味です。 後に主語+動詞をつけることもできます。 形容詞の代わりに副詞を使うこともできます。	例) <u>How small!</u> <u>なんて小さいんだ!</u> 例) <u>How small</u> it is! それは <u>なんて小さいんだ!</u> 例) <u>How fast</u> he runs! <u>なんて速く彼は走るんだ!</u>
① なんて暑いんだ!	→ (How) (hot)!
② 彼女はなんて美しいんだ!	→ (How) (beautiful) she is!
③ なんて背が高いんだ!	→ (How) (tall)!
④ 彼はなんて賢いんだ!	→ (How) (smart) he is!
⑤ なんて速くあなたは泳ぐんだ!	→ (How) (fast) you swim!
What+形容詞+名詞で「なんて～な…なんだ」という意味です。 後に主語+動詞をつけることもできます。 このように驚きを表す文を感嘆文といいます。	例) <u>What a small book!</u> <u>なんて小さい本なんだ!</u> 例) <u>What a small book</u> it is! それは <u>なんて小さい本なんだ!</u> 例) <u>What a tall man</u> he is! 彼は <u>なんて背が高い男性なんだ!</u>
① なんて暑い日なんだ!	→ (What) a (hot) (day)!
② 彼女はなんて美しい女性なんだ!	→ (What) a (beautiful) (woman) she is!
③ なんて背が高い先生なんだ!	→ (What) a (tall) (teacher)!
④ 彼はなんて賢い男性なんだ!	→ (What) a (smart) (man) he is!
⑤ これはなんて長いペンなんだ!	→ (What) a (long) (pen) this is!

